

「おりがみ・切り紙」授業の報告

【折形について】

折形とは、日本の包む文化の元になったもの。室町時代の幕府の命で研究・制定された上級武家の贈り物をする時の礼儀作法であったことから、さまざまな決まりごとがあります。

本時は、和紙の檀紙(だんし)と雁皮(がんび)でお金を包む方法を実習しました。講義では、たくさんの実物を見せていただきました。

生徒の感想「熨斗(のし)が付いているバージョンとないものがあったてすごいと思った」「紙の質もいろいろ知ることができた」「実用性がありかっこいいなと思った」

